

令和3年度 第1回五島市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和3年7月29日(木) 午後2時57分～3時52分
- 2 場 所 五島市役所3階 第2委員会室
- 3 出席者
【構成員】 野口市長、村上教育長、坂本教育委員、柚川教育委員、濱村教育委員、山本教育委員
【事務局】 政策企画課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、教育委員会総務課総務班係長
- 4 傍聴者 0名
- 5 内 容

(1) 開会

【事務局】

みなさま、こんにちは。

本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ただ今より、令和3年度第1回五島市総合教育会議を開会させていただきます。

この総合教育会議は、市長と教育委員会の協議、調整の場として、法律により設けられておりますので、有意義な会議になればと思っております。

それでは、次第に沿って進めさせていただきますが、開会にあたりまして、市長のあいさつをお願いいたします。

(2) 市長挨拶

【野口市長】

みなさん、こんにちは。本日は令和3年度第1回五島市総合教育会議にご案内したところ大変ご多用の中にご参加いただきましてありがとうございます。

まずはお詫びとご報告をさせていただきたいと思っております。27日に新図書館の安全祈願祭を開催させていただきました。教育委員の皆様にも是非ご参加をと思っていたのですが、ただ会場が密室状態であるということでございまして、私と教育長、副市長、関係の施工業者、そして市議会とある程度出席者を限定して開催させていただきました。申し訳ございませんでした。

図書館もこれまで何回か入札をしたんですが、入札が成立せずに、そうこうしているうちに土地の土壤汚染で六価クロムという有害物質が検出されました。今度はこれの除去費用も工事の中に入れ込む、あるいは安全性を確保するための方法を協議してまいりまして時間がかかりました。

先の市議会において契約案件についてご理解をいただいたものですから、議会終了後、安全祈願祭、着工、そして来年の9月末に完成をいたしまして、半年間の準備期間を経て再来年の4月

からオープンをするということでございます。今日はその他の中で新図書館建設についてもご報告させていただきたいと思っております。

それから、今コロナの関係でワクチン接種に取り組んでいるんですが、五島市では7月25日現在でございますけれども、65歳以上の方については1回目の接種を85.5%の方に、そして2回目の接種を71%の方に完了しております。これについては7月中にはほぼ完了するのではないかと考えております。一部8月以降にずれ込む高齢者の方がいますが、この方々は集団接種のご案内を差し上げているんですが、どうしてもかかりつけ医で打ちたいということで、8月に少しずれ込む方がいらっしゃるということで、100%ではございませんが、可能な分については7月中に終わるのではないかと考えております。それから五島市の場合には既に64歳以下の方についても接種を開始し、あるいは高校生まで接種券については発送させていただいております。それで65歳未満の方も含めたところで1回目の接種が終わった人は五島市民全体の64.5%、それから2回目の接種が終わった方が39.3%ということでございます。他の市町に比べても遜色ない形で進めているところでございまして、全国的には10月、11月という話がありますが、五島市の場合は9月には概ね接種がある程度目途がつくのではないかと考えております。コロナがある程度ワクチン接種で収まりますと通常の学校活動が帰ってくるということでございまして、またその節には皆様方にもいろいろとお願いをしたいと思っております。

今日の総合教育会議は市長と教育委員の協議の場となっておりますので、いろいろとご相談をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

(3) 協議

【野口市長】

それでは早速協議に入りたいと思っております。「成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】

(資料により説明)

【野口市長】

ただ今、説明がありましたように成年年齢が18歳になるということで、これに伴って成人式をさてどうしましょうかということでございまして、事務局から説明がありましたが、対象年齢として18歳、19歳、20歳、21歳にするのか。あるいは式典の名称について、あるいは実施時期や開催方法について、この4点についてご協議いただきたいと思います。それでは区切って意見をいただければと思いますが、まず対象年齢をどうするか、今までどおり20歳にするのか、それとも18にするか19にするか、アンケートの結果では今の20歳でいいのではないかとというのが74%ということでございますが、それぞれご意見をいただきたいと思います。

【山本委員】

私としましては、自分の18歳の頃は受験のことでいっぱいだったし、ましてや成人について考えたこともなかったし、家庭で話をするということもありませんでした。徴兵制のあるアメリカとか韓国では中学校の時点で、親子で成人について話をするという話を聞きましたが、日本ではそれはまだまだできていないし、このアンケートにある子どもたちの20歳でという意見の中に、「高校を卒業してからの経験を踏まえて大人になる覚悟や希望を友と語り合うことができる。」というのが

ありましたが、私も同感で大学を卒業する前ですから中学校、高校を卒業した後に就職された方や専門学校に行かれた方もいると思いますが、社会でもまれてきた経験からそこで自分はどんな大人になりたいと考えられると思いますので、現在の20歳でいいと思います。

【柚川委員】

年齢は20歳のままでいいと思いますけど、開催場所については、ここ4、5年の参加者の人数はどうなっていますか。年々減少傾向にありますか。

【野口市長】

今日の資料にもありましたけれども、だいたいこんな感じでございます。

【柚川委員】

場所は、1か所でいいのではないかと思います。

【濱村委員】

私も現状の20歳でいいと思ったんですけれども、この年度内に21歳に達する人を対象というのもいいのかなと思います。20歳にすると19歳の子も実際成人式をするけれども飲酒はできない、飲める子と飲めない子がいてとなった時に、もうそれを21歳まで上げてみんなが同じ状態にするというのも、今この資料を見た時に21歳というのもありなのかなと思いました。

【坂本委員】

私は自分の18、20歳ぐらいのことを振り返った時に、まだ人間的に成熟していなかったという思いが強くあります。そういう意味では真の成人になるための成熟する期間も必要ではないかと思います。だから成人年齢は18に下がったけれども成人式というのは従来どおりの20歳でやった方が進学就職も考えていいのではないかと思います。ただ、濱村委員が言うように酒を飲むための成人式ではありませんが、それもあかなと思いました従来どおりの20歳でいいと思いました。

【教育長】

私は成人年齢が18歳に引き下げられたということで、これに従わなければならないと思っておりますが、この引き下げたことについて私は疑問があります。昔の20歳と今の20歳を考えた時に、生きる成熟度で言ったらやはり昔の方が高かったと思います。そういう意味で大人になったという式をするには20歳がベターではないかと思っております。

それから、ついでお聞きしたいんですが、資料で玉之浦支所が昨年0人の予定だったんですが、この原因は分かりますか。

【事務局】

実際のところは、数名おりましたが、コロナの影響もありまして、だんだん参加者が減ってきて、最終的には1名になりました。そこで、その1名のみで開催するかということをご本人にも確認しましたが、それであれば福江の文化会館で参加したいということで玉之浦地区についてはなくなりました。

【野口市長】

玉之浦はここ何年かは一桁になっている状況が続いております。

今日すべてを決定するというものではありませんが、一応総合教育会議としては20歳を基本にして検討してみてもどうかということにしたいと思っております。

次に式典の名称についてはどうでしょうか。これはまだ近まってから、また事務局の方でしっ

かり案を作ったうえでお諮りしましょうか。

あと、実施時期も今1月4日となっていますが、例えば今年1月を中止にしたところは5月の連休にやったところもあります。それから夏場にやろうかということで検討していた自治体もあったようですが、一旦島を出た子が戻ってくるとなるとそういった時期しかないかと思いますが、この実施時期について何かないでしょうか。

【山本委員】

私はそのままでもいいと思います。

【柚川委員】

私も同じです。

【濱村委員】

私も同じです。

【坂本委員】

私も同じです。

【教育長】

私はお盆もありかなと思ったんですが、どちらかというとは帰省をする場合にはお正月よりもお盆に帰ってくる方が多いのではないかと思います。ただ、成人式の着物ということ考えると、この猛暑の折に女性が可哀想ということもありますので、私も1月4日でもいいと思います。

【野口市長】

以前は1月3日と4日に分かれて行っていましたが、1月4日に統一させていただいて今日に至っております。実施時期については今の1月4日を基本に検討していただければと思います。

それから、開催場所についてでございます。1か所にする、あるいはそれぞれ分散開催にする。あるいは奈留島と福江地区に分けてするとか、いろいろと方法はあるかと思いますが、この件についてどうでしょうか。

【山本委員】

私は、五島市になって17年目になりますので、五島市の一体化を考えると、できたら福江文化会館で開催してはと思います。人数的にも入れると思いますので。ただ、コロナが続くようであれば、各地区で分散していいのではないかと思います。それから、奈留の子どもたちのことも思いますけれども一本化していいのではないかと思います。

【坂本委員】

私も、五島市になって17年目になりますので、子どもたちも人口減少が続いて他校との交流等もよく行われるようになってきていると思います。また、部活動の練習試合等で他校との関わりも強くなっています。そういうことから考えれば実際1か所で行えば市長さんの祝いの言葉も、想い考えというのが生の声で伝わりますから、そちらの方が重みがあるのではないかと考えています。

【濱村委員】

アンケートを読んだ時に経費削減とか、こういうことを考えているんだと思って、子ども子どもと言いながら自分が高校生の時、こんなことは考えられなかったなと思い、すごいなと思いました。また、反対意見では奈留島や地域の過疎化というのが実際生の声で、ただ、この回答率が760人中137人なので、この回答率がもう少し高くて本当の子どもたちの声というのが多くあれ

ばそれを参考にできるのになと思いました。私は今三井楽に住んでいますが、子どもが福江で合同であると言った時に、やっぱり三井楽がいいなと言っていたんですね。もっと子供の気持ちを反映して、徐々に移行して何年か後には福江でするよという形にして、ここは子供の気持ちをもう少し吸い上げていいんじゃないかと思います。

【教育長】

先ほど玉之浦が0の理由を聞いて納得したんですけども、奈留島が今どうにか人数的にもっているのは島留学生のお陰なんですよ。その子たちが五島に来て成人式に参加してくれるのだからか考えた場合に、そこらへんは別のアンケートをとってもいいと思いますけれども、やはり1人、2人、3人で成人式をするとなった時に、子どもたちも福江で一緒にした方がいいんじゃないかなという感じになるのかなと思います。これも一つのいい機会と思いますので思い切って1か所でいいのではないかと思います。

【野口市長】

実は、今回のアンケートで反対が23%になっていますが、回答率を見ると奈留高校が圧倒的に高くなっています。ただ、奈留の成人式は他の福江島の4地区とは違うんですよ。行くと必ず涙が出ます。小さいころからの運動会とかのビデオを流すんですよ。多分それを前提に撮っているんだろうと思います。それをいきなりやめると言われても今までの蓄積がありますので、奈留の反対というのはよく分かるんですが、先ほど濱村委員から意見があったんですが、最終的には1か所になって行くんだろうと思いますが、ただまだ20人、30人という規模のところもありますし、1か所ということを目標にしながら、できるだけ地域の意見をもう少し聞いてみる必要があるのかなと思います。やはりこのアンケートの回答率がちょっと低いなという感じもありますので、そこはこの総合教育会議の意見も尊重しながら、また改めて検討させていただきたいと思っています。

他に成人式の関係で何かございませんか。

【全員】

ありません。

【野口市長】

それでは、今日いただいた意見を尊重させていただきながら今後の在り方について、教育委員会の方で検討していただければと思います。

それでは、以上で協議事項については終了したいと思います。

(4) その他

【野口市長】

次に、その他となっていますが、教育委員の皆様から他に協議したい内容などございませんか。

【全員】

ありません。

【野口市長】

何も無いようでしたら事務局から事業の進捗状況について報告をお願いします。

まず、「児童・生徒のコロナワクチン接種について」説明をお願いします。

【事務局】

(資料により説明)

【野口市長】

夏休みが終わった後に希望者は接種をするという事です。

実は高校生については、ほとんどが8月7日、8日に1回目を受けるようになっております、ですから8月中には2回目も打ってしまいます。それ以外については、集団で打つかどうかというのはそれぞれでご判断をいただくということですが、実は五島市全体というかまだ福江地区しかとっていませんが、いま接種券を送り終えていますけれども、それに対する申込の状況が年齢で違う状況になっています。65歳以上の方は先ほども言いましたが85.5%、60歳から64歳は77.9%、50歳から59歳は60.7%、40歳から49歳は54.2%、30歳から39歳は37.7%、19歳から29歳は27.7%と、若い人ほど希望しない状況になっております。これが最終的にどういう形になるかは分かりませんが、ただ五島市の場合には今の時点で1回目の接種をした人、あるいは予約をしている人が市民全体の7割を超えているということで、いわゆる集団免疫はなんとか確保できる状況となっております。ただ、これがデルタ株に通用するかどうかというのは分かりませんが、今から接種率は上がってくると思いますので、7割は確実に超えてくると思います。五島市としてはできるだけ接種していただく、ただ、強制ではありません。ということであまり同調圧力はかけたくありませんので、こういう状況になっております。

何かワクチン接種に関してありませんか。

【濱村委員】

うちの子どもは20歳なんですが、先日接種券が送ってきました。でも実際は鹿児島に住んでいますので市役所に聞いたら、その自治体に行けば打てますよと教えていただいたんですが、そういう子どもたちも多いと思います。実際住民票はここにあるんですけど住んでいる自治体で受けたという人が周りにもいるので、そういう人も入れると接種率も少し上がるのかなと思います。

【野口市長】

逆の話も聞いてまして、向こうに住民票を持って行った子供さんたちが夏休みにこちらに帰ってきて受けると、できればこちらで受けさせて副反応で熱が出た場合に面倒をみてあげるということで、親が予約を入れているという話を聞いております。

【教育長】

一つは、マスコミが若い人はかからない、かかっても重症化しない、そしてワクチンは若い人ほど副反応が酷いというのが常識的になっております。ところが、東京では3千人のうち千人が20代ということを知ると、また変わってくるのかなという気がしております。

【野口市長】

いま全国的には緊急事態宣言の地域やまん延防止重点措置の地域に住んでおられる方は、できれば県境を越えないでいただきたい、これはお盆の時期まで続くと思いますが、1年半以上もお孫さんに会えていないおじいちゃんおばあちゃんたちもワクチンは完了しているので、それを言うのが悩ましいところなんですけれども。

【坂本委員】

ふるさとで深呼吸というキャンペーンを県がやっていますよね。これを止めるという話は聞いていませんか。これによっても感染の広がりがあると思うんですけども。

【野口市長】

いま県内は長崎市も含めて少し広がっている状況なんですけれども、まだ今のところは続けるようです。

【坂本委員】

五島でも私が久賀島に帰るときにジェットfoilを見るんですが、ポストンバッグを抱えている人が乗る人も降りる人もかなり多くなっており、以前と全く変わらなくなったなと感じております。

【野口市長】

年配の人が多くないですか。

【坂本委員】

若い人も最近では増えているようです。夏休みでやはり学生だと思うんですが。

【教育長】

彼らにとっては東京よりもこっちの方が安全でしょうからね。

【坂本委員】

レンタカーでも県外からの人が増えているということですから。

【野口市長】

一応、深呼吸の事業は県内を限定にしております。

今日来たお客さんもジェットfoilは満席でしたと言っていました。やはり子供さんが多かったと言っていました。

【教育長】

現在のところ19歳から29歳が27.7%になっていますが、私は低いと思っております。強制はできませんけれども、できるだけ打ってもらってこれを上げる方向で進めていただきたいと思います。

【野口市長】

はい。ただ、同調圧力にならないように進めていきたいと思えます。

それでは、次に新図書館建設について事務局から報告をお願いします。

【事務局】

(資料により説明)

【野口市長】

図書館に関して何か質問等ございませんか。

【山本委員】

成人書と児童書は同じホール、空間に設置するのですか。

【事務局】

同じ空間になりますが、ゾーンを分けて設置いたします。

【野口市長】

ギャラリースペースや読み聞かせをするスペースもあるようです。

【坂本委員】

楽しみですね。

(5) 次回開催について

【野口市長】

それでは次回開催について事務局から何かありますか。

【事務局】

例年、11月頃に開催しておりますが、今年もその頃に開催してはどうかと思っておりますがいかがでしょうか。

【全員】

はい。

【野口市長】

それでは、次回の開催は11月頃を目安にしたいと思います。詳細につきましては、事務局と調整しまして、決定後に通知したいと思いますのでよろしく申し上げます。また、今後教育委員会から協議、意見交換したい内容がございましたら、調整をして臨時的な会議として開催いたしますので事務局まで伝えていただければと思います。

(6) 閉会

【野口市長】

それではこれもちまして、第1回総合教育会議を終了したいと思います。ありがとうございました。